指定管理施設の管理運営状況にかかる評価表　【 令和7年度分 】

施設名	佐田総合資源リサイクル施設	施設所管課	農業振興課
指定管理者	有限会社エコプラント佐田	指定管理期間	令和3年04月01日　から 令和8年03月31日　まで

1．総合評価

市	【優れていると評価した点】 支出を抑え、事故無く、施設の維持管理及び周辺環境整備を適切に行っている。堆肥製造については、品質向上、安定的な生産に力を入れており、有機ＪＡＳ認証農家が使用できる堆肥としての認定を受けている。利用者の満足度も高い。 【改善すべき点】 指定管理者所有の施設、設備機器も老朽化しており、大規模修繕、更新が必要である。
指定管理者	【優れていると評価した点】 事故等なく経営、管理をうまく運営している。 【改善すべき点】

2．施設利用について

総括	施設での処理量は高い水準で推移しており、引き続き作業の効率化を図っていくことで安定的な堆肥の生産を行う必要がある。一方、将来的には、畜産農家の廃業により処理量が減少することも想定されるため、その場合の経営戦略も必要である。

⑴ 収支状況の推移（自主事業を含む）

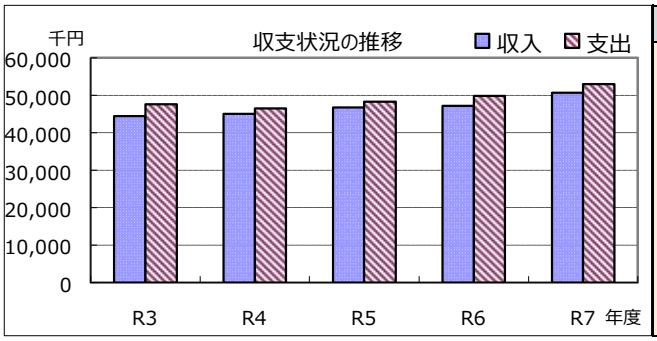
（単位：千円）

	項目	R3	R4	R5	R6	R7
施設の収支	収入	44,398	44,980	46,735	47,128	50,652
	うち指定管理料	5,172	6,124	7,219	8,517	9,052
	うち利用料	13,635	12,942	14,798	12,879	13,663
	その他	25,591	25,914	24,718	25,732	27,937
	支出	47,570	46,504	48,223	49,869	53,004
	差引	△ 3,172	△ 1,524	△ 1,488	△ 2,741	△ 2,352

＜上記以外の市の収入、支出＞　（単位：千円）

	項目	R3	R4	R5	R6	R7
市の収支	収入（使用料）	0	0	0	0	0
	支出	516	696	1,151	2,204	6,896
	うち修繕費	388	567	1,016	2,061	1,228

※大規模修繕を除く

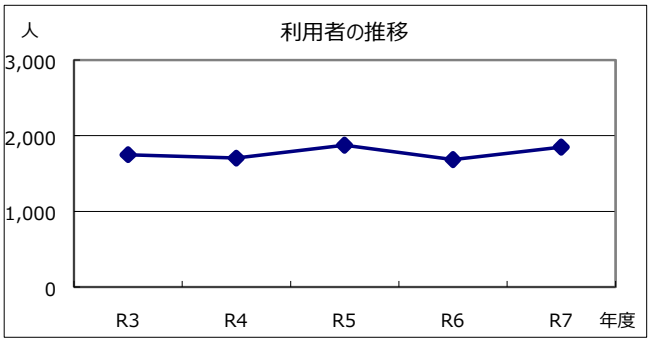


収入増・コスト削減に関する取組
施設の環境整備など可能な限り職員で対応し、外部委託経費を抑え、コスト削減に努めた。

⑵ 利用者の推移

（単位：人）

利用者	R3	R4	R5	R6	R7
	1,752	1,705	1,874	1,685	1,848



利用者の増に向けた取組・利用の動向
家畜糞尿処理量は横ばい傾向にあるが、畜産環境が厳しいなか、後継者が無く廃業される農家が出ることが予想され、長期的には利用が減っていくことを見込んでいる。

⑶ 利用者アンケート

アンケートの実施状況
利用者３１件のうち２０件から回答を得た。

回答数	職員の対応・マナー・説明、施設管理・サービス				主な意見（問題点）・対応（効果）
20 件	①非常に良い	10	件	50.0 %	・土曜日半日作業をしてほしい。
	②良い	10	件	50.0 %	・コンテナの老朽化や蓋が重いので対応してほしい。
	③ふつう		件	0.0 %	→コンテナの修繕や新規購入を行い対応
	④悪い		件	0.0 %	・畜産振興上どうしても必要な施設であり、地域の畜産農業のためにも行政支援を含め維持・拡大を希望。
	⑤非常に悪い		件	0.0 %	

⑷ 住民サービス向上の取組・事例

委託先の収集運搬業者と協力して、家畜農家の希望にあわせ、きめ細やかに対応している。

３．自主事業について

総括	残留農薬クロピラリドの検査、放射線量計による家畜糞尿中の放射線量の測定を行うなど、安全安心な堆肥づくりに努めている。
実施状況	家畜糞尿の収集運搬（委託）、堆肥の販売、豆腐粕、柚子粕、廃乳の堆肥化処理

４．施設の維持管理・安全対策について

建物、機械設備ともに老朽化が進んでいるため、機械の清掃、点検、注油等を怠らず、気を配っており、故障の際には速やかに対応している。

５．職員（従業員等）の接遇・研修について

毎朝のミーティングにおいて、安全対策、接遇など、さまざまな情報共有を行っている。